

ロードヒーティング取り扱い説明

この度は、当社のロードヒーティングシステムをご購入いただき誠にありがとうございます。
当ロードヒーティングシステムは、電熱方式により特別なメンテナンスを必要と致しませんので、使用期間前後の簡単な点検・操作により長期間安心して御使用頂く事が出来ます。

屋外分電盤の点検…ロードヒーティングの使用期間は、通常の期間で12月初めから3月末まで
と思われれます。そのため分電盤内を点検し、使用期間開始時期
(11月末日頃)には全てのブレーカーをONにして頂き、使用期間終了時
(3月末日頃)にはOFFにして頂きます。

<注> 使用期間終了時にブレーカーを切り忘れると、外気温の高くなる時期に誤って室内
操作スイッチを手動に入れた場合、異常加熱状態となり火災の原因となりますの
でくれぐれもご注意願います。

室内スイッチ操作…室内のコマンドスイッチで、自動運転・手動運転・運転停止の切り替
えをする事が出来ます。

自動運転 一定時間雪が降り続けると赤外線センサーがその状態を感知し、同時
に外気の温度を測定して設定温度(積雪とならない温度)より低い場
合に運転を開始します。

その後雪が止んでも路面に残った雪を融かす為にはすぐには通電を停止
せず降雪量に応じて事前に設定しておいた一定時間追加運転します。

手動運転 降雪・気温に関係無く運転する事が出来ます。

融雪電力による通電停止時間中に積雪状態となった場合や、激しい降雪
により自動追加運転後でも融けきらない場合がありますので、その様
な時にお使いください。

自動運転・手動運転をうまく組み合わせてお使いいただくことにより、経済的でより早く
融雪効果をあげることができます。